

## 新庁舎建設町民説明会 要旨

日 時 令和元年6月1日(土) 14:00~16:30

場 所 町民センター 大ホール

参加者 70名

町 村田町長、府川副町長、森教育長、田嶋政策総務部長、  
志賀政策担当部長、松本健康福祉部長、椎野都市部長、黒石教育部長、  
二宮財務課長、西山防災安全課長  
事務局 企画政策課 4名

### 1. 開 会

### 2. 町長あいさつ

### 3. 二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の説明

### 4. 質疑

参加者	庁舎建設候補地から東大跡地を消すために、子ども自然塾に活動させていたのではないかと。学校の空き教室に庁舎移転の案を消すために、一色地区再生協議会を活動させているのではないかと。初めからラディアン周辺に新庁舎を作ろうという考えでやってきたのではないかと。
町 長	町は、にのみや子ども自然塾だけではなく、いろいろな団体に補助金を出している。その補助金は私が決めるのではなく審査委員が決めており、役場庁舎を東大跡地に作らせないためではない。 一色小学校区地域再生協議会についても、全く関係ない話である。学校の教室を住民活動で利用して、庁舎の移転と結び付けないようにしたわけではない。

参加者①	新庁舎基本構想・基本計画案はいつ、誰が、どのように判断して策定されていくのか。なぜ基本設計委託料5,000万円なのか。2月の町民説明会では2,500万円だったが、なぜ倍額になったのか。
政策担当部長	基本構想・基本計画(案)の案を取る作業というのは、基本的には町のほうで提案したいと思っている。基本設計委託料については、2月の説明会の際の金額は見積りであり、今回の見積りとは内容が変わったため金額が違う。
参加者①	見積りの価格が変わったことは町民に知らされているのか。

事務局	2,500万円というのは、基本構想・基本計画（案）の中に書かれている。これを公表した時点では、他の市町庁舎を参考にした概算である。予算計上にあたり免震構造で改めて見積りを取ったところ5,000万円だったためその金額で補正予算を計上した。
参加者①	2月の説明会で2,500万円なのに、3月には5,000万円の予算で出ているというのはおかしくないか。議会にかける上でどうして倍増になったか説明しているのか。
事務局	事業費というのは概算で、2,500万円は計画の中での数字である。確かに差はあるが、4社から見積りを取ったら5,000万円となった。
参加者①	免震構造から耐震構造と計画が変更されたが、補正予算も変わるのか。免震だから5,000万円という見積りなのか。
事務局	最初の2,500万円はあくまで概算ということである。
参加者②	概算で倍にはならないのではないか。間違っていたら謝るべきだ。
事務局	申し訳ありません。そこは謝るべきところだと思う。免震で5,000万円程度の見積もりが数社から出てきたので予算計上したが、否決された。
参加者①	耐震でも5,000万円ということか。
事務局	耐震だと金額が落ちる。
参加者①	設計委託の費用は、耐震か免震かで変わるものか。
事務局	構造種別によって金額は変わるため、免震から耐震にすることで、設計費用自体は下がる。今回の補正内容には、議会特別委員会の要望を踏まえ、基本設計の後に行う予定であったボーリング調査費用も含めたので、前回の金額とほぼ同額となった。
参加者	<p>現庁舎の近年の維持管理費を具体的に公表してほしい。新庁舎の維持管理費が減ることは現実的な数字ではない。</p> <p>二宮町の2045年の推定人口は今よりも1万人近く減るが、税収減をどのように推定しているのか。この人口のうち半分近くは65歳以上であるため、税収は大きく減ると思う。</p> <p>町のホームページを見ると既に過去の調査レポートが出ているが、なぜ文化財発掘調査費が3,520万円かかるのか。</p>
事務局	平成29年度、30年度の内訳で、修繕含めた維持管理費・保守費が約1,800万円、人件費が約600万円、光熱水費が約600万円で、合計3,000万円程度である。維持管理費・保守費については、修繕の減や保守点検が減る分で900万円程度下がる見込みとなる。人件費の部分は、おそらくそのまま残るが、光熱水費は、LEDや雨水利用等で約50%減の300万円程度になり、合計すると1,800万円くらいを見込んでいます。機器の選定をしていないのであくまでも見込

	みになる。
参加者	大きな事業に対して、見込みの額で予算作りをするのはおかしいと思う。
事務局	基本設計を行っておらず、機器の選定もしていない。いくら下がるという数字はただの想像になってしまう。
参加者	ただの想像でそういう編成計画が成り立つのか。
事務局	機器の選定も出来ていなければ、数字は甘くなる。現状から比較するとこうなると考えている。
財務課長	二宮町は人口ビジョンを策定しており、税収は人口減少に比例して減るという見込みをたてている。ただ(国の)地方交付税制度は、財政事情が一定なら、税収減した部分がある程度補填する制度なので税収が減ったからといって何も出来なくなるということではない。今の制度がそのままであれば補填されると考えている。
事務局	ホームページに掲載しているのは、ラディアンを建設した時の埋蔵文化財調査の結果である。埋蔵文化財の包蔵地については、建設にあたって必要性を県に相談することになっており、調査が必要と結論が出た。費用としては、計画している建坪に対して 20,000 円～22,000 円/㎡を掛けるのが妥当とのことだったので、建築面積(1階床面積と同じ) 1,600 ㎡として計算した。

参加者	予算的に新庁舎の建設があるから小中学校の再編は先延ばしにしようという意図が感じられる。これから 10～20 年を見据えて、大きなものはまとめて実現するようにするべきだ。今の小出しにするやり方では意見はまとまらないと思う。学校の再編を先にやるべきだ。これは意見のため、回答を求めない。
-----	---

参加者	先程、基本構想・基本計画(案)の案を取るのは町がやるということだったが、町民が意見や提案をしても、町の一存で決まるということか。話が二転三転しており、町の計画は信用できない。調査費も精査したら概算から倍になり信じられない。議会で補正予算が否決されたらこの計画をどうするのか。
町長	最初の 15 億円の時点で、設計費用等を見込んでいなかったことは申し訳なく思っている。より高い安全・安心のため免震構造も考慮していた。 この 3 ヶ月間、皆さんの意見を真摯に受け止めており、後年に財政負担を残すのではないかと心配する皆さんの不安も理解している。新庁舎建設後、10 年 20 年後の未来を見据えた庁舎を今回提示しており、現在の庁舎をそのままにしておくわけにはいかない。耐震補強も含めて早急に決めなければならず、先延ばしに出来ないこ

	とを理解してほしい。
参加者	案を取るの町だというのはどういうことか。議会で否決されたら今の庁舎の耐震を考えると、そもそも地震がきたら今の庁舎では危ないので新庁舎という考えではないか。新庁舎が出来るまで、現在の庁舎の耐震をどうするのか。全体像が見えないから皆が右往左往する。本当にこの計画で良いのか。
町長	新庁舎が建設されるまでの体制を考えなければならないと思っているが、プレハブ建設等の二重投資は避けたい。ラディアン周辺で事業費 20 億円の枠の中で、より地震に強い構造とし、次の基本設計で町民の意見を聞いて作っていききたい。
参加者	議会で否決されたら今の庁舎を耐震するという考えでよいか。
町長	一刻も早く次の段階に進むことを考えている。町民の意見をしっかり受け止めたものを計画に反映し、それをここで説明しているので理解してほしい。まだわかりにくい等の声は真摯に受け止めた。

参加者	町の未来像や新庁舎建設及び建設後の経済的利益はどのように考えているのか。
町長	新庁舎は防災機能だけでなく、新たな町の交流拠点の中心となる。将来の人口減を見据えて無駄は省くが残すべきところもある。ICT が進むことにより庁舎に行く必要は少なくなるという意見もあるが、人件費を削減するにしても、役場の機能として求められていることは他にもある。来庁しやすい場所なのでラディアンも含め、町の居間のように人の集い・交流などが生まれ、安心・生きがいの拠点として作り上げたい。設計で町民の皆さんから機能等の意見を聞きたい。参加をお願いしたい。
参加者	町長の考えや言葉が、資料の中では理解できない。町民が知りたい資料がない。町長の考えや言葉をもっと町民に示してほしい。

参加者	事業スケジュールは変更があるか。
事務局	2 月時点の予定より遅らせている。前回は 3 月までには基本構想・基本計画（案）の案が取れる見込みだったが、まだ取れていない。スケジュールは後ろにずれていく。
参加者	建設工事は何年度から始める計画か。
事務局	令和 3 年 4 月に工事発注見込みだったが、半年以上ずれる予定である。
参加者	建設費の変更が多く、算定が適当である。オリンピックに関係して建設費は高騰していると思うので、オリンピックが終わる 2020 年に計画したほうが建設費は安定するのではないか。

政策担当部長	これまで他市町の庁舎の平均の㎡単価に、必要床面積をかけて建設費を出しているが、具体的には設計を試してみなければわからない。建設費が正確に出るのは実施設計の段階になってくる。今年度は基本設計を予定しており、庁舎の機能やスペースなどを検討する。実際に必要な部材や価格を出す実施設計は令和2年度に予定しており、令和2年度中に実施設計へ着手することが国の交付金の条件である。
参加者	実施設計は競争入札で行うのか。
財務課長	大規模な委託や工事は基本的に競争入札となる。随意契約は相応の理由がないと法的にはできない。
参加者	開成町の庁舎建設は、時間をかけて学識経験者を入れた委員会での建設会社にするか厳しい審査をやっているが、二宮町もそうするのか。
財務課長	一般的には入札で金額の判断となる。一方で、総合評価方式の入札により、金額だけではなく内容の理解度や効率等で判断し、他の会社より高額でも契約する方式が全国で確立してきている。しかし今回は、事業費の問題もあり総合評価方式は難しいかもしれない。これについては検討する。
参加者	開成町のスケジュールは参考になるが、建物が立派過ぎるので、建設費は参考にしないほうが良い。地震に強く、外見に頼らないものにしてほしい。

参加者	市町村役場緊急保全事業で建替えるのが国の勧めかもしれないが、地震はいつくるかわからない。職員等の命を守るため仮設の庁舎を建て、その後空き校舎に移転するなど二重投資でも良いので、命を先決で考えたほうが良い。仮設で過ごす中で、今後のことを考えるべきだ。未来を背負う子供のことを考えているのか。今ある施設を大切に使い、ICTなどを活用し電子媒体などで申請が出来るようにし、支援が必要な人に職員が出向く。窓口業務は分散も可能だと思う。庁舎ありきではなく、まず危険を回避し、その後に皆で議論すべきと思う。
町長	学校の校舎にも、手を入れないわけにはいかない。新庁舎と同時並行的に意見交換し、丁寧に対応するつもりである。 庁舎建設については、コストや安全性等の面を考慮し提案している。手続き関係はコンビニでも出来るようになり、庁舎の機能はその面では減っていくことを含め4、5年後の役場の機能を考えている。出向いていくことも考えられ、10年20年先を見つめた庁舎の機能を作っていきたい。新たな交流の拠点、様々な活動がプラスになるような機能を考え、設計の段階で皆さまの意見を聞いて作りたい。

	い。
参加者	人が行かなくても済むということでは、町長が言う交流拠点はありえないと思う。ただの事務所がどうして交流拠点なのか。
町長	保健センターでは出産前後で相談や集う場がある。健康や教育につながる相談はネットでは出来ない。保健センターが庁舎に入るかどうかは今後の設計での検討となるが、今あるものの活用も考えたい。
参加者	保健センター、教育委員会も入るかどうか分からないが、次の計画で明らかにするということは、庁舎は建設されるということか。
町長	今回は場所、規模、上限額を説明したが、役場機能の何を盛り込みたいかについては町民の意見を聞いた上で、次の段階で決めたい。
参加者	<p>現庁舎は暗く、バリアフリーでもなく、窓口がわかりにくい。新庁舎はラディアンがある中心地に持っていくのが良い。今後 30 年のうち 8 割の確率で地震があるといので、先送りしないで、すぐにとりかかる必要がある。町は財源を十分に精査して進めてほしい。</p> <p>誰かから「西中学校に庁舎を 3~4 年後に移せば良い」という話を聞いたが、地元では納得がいかない。庁舎と学校の問題は切り離してほしい。学校の統合は地元と十分論議してほしい。新庁舎の基本設計は減額や見直しが出来かわからないが、進めてほしい。</p>

参加者	庁舎を何も考えずに進めることは認められない。子供たちのことを考えてほしい。
町長	40 年 50 年後のことを考えて、計画している。まだまだ理解いただいていないようなので、皆さんのところへ出向いて説明していきたいと思う。